

# 令和7年度 子ども大学はにゅう

## 1. 実施体制

子ども大学はにゅう	学長	布施 由起（埼玉純真短期大学学長）
	副学長	川島 規行（羽生市教育委員会教育長）
子ども大学はにゅう実行委員会	実行委員長	三友 玲子（埼玉純真短期大学地域連携センター長）
	実行委員 （関係団体）	埼玉純真短期大学、羽生市教育委員会、（一社）羽生青年会議所、羽生ロータリークラブ、羽生市青少年相談員協議会
	問合せ先	羽生市教育委員会生涯学習課（子ども大学はにゅう実行委員会事務局） TEL：048-561-1121（内線313）

## 2. 事業内容

開催回数	2回	開催期間	令和7年8月7日～令和7年8月8日			
参加者数	27名	内訳	小学4年生	2名		
			小学5年生	7名		
			小学6年生	18名		

### 3. 実施内容

1日目	開催日時	8月7日(木)	
		10:25～11:20	
生き方学	会場	埼玉純真短期大学	
	講義名	3Rでゴミを減らそう！&リサイクル工作	
	講師	<b>【3Rでゴミを減らそう！】</b> 埼玉県環境部資源循環推進課 石川主任 <b>【リサイクル工作】</b> 羽生市教育委員会生涯学習課 竹見主事	
			3Rについて学んだ後、牛乳パックを使って貯金箱を作りました
1日目	開催日時	8月7日(木)	
		12:50～14:00	
ふるさと学	会場	丸和油脂株式会社 羽生工場	
	講義名	はにゅうの産業と歴史を知ろう ～食品工場をのぞいてみよう～	
	講師	丸和油脂株式会社 羽生工場の皆さん	マヨネーズ・マーガリンの製造過程や梱包方法を学び、工場見学をしました

### 3. 実施内容

1日目	開催日時	8月7日(木)	
		14:40~15:55	
はてな学	会場	ものづくり大学	
	講義名	橋を強くする方法を学ぼう	
	講師	ものづくり大学建設学科 教授 大垣 賀津雄 先生	
			クイズ形式で橋の構造を学び、実際に電動ドライバーを使って木ねじを打ち込みました
2日目	開催日時	8月8日(金)	
		9:30~10:20	
はてな学	会場	埼玉純真短期大学	
	講義名	絵から生まれる音楽?! ~図形楽譜の世界~	
	講師	埼玉純真短期大学 小川 弥輪 先生	
			様々な楽器を使って、絵からイメージする「音」を発表しました

## 4. 参加者の声

<p>参加した子供の声（感想）</p>	<p><b>【3Rでゴミを減らそう！&amp;リサイクル工作】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今ごみの量がいっぱいになっていて大変だと思ったので、減らしたいです。</li> <li>・オリジナルの貯金箱を作ることが楽しかった。</li> <li>・貯金箱を作るとき、サポーターのお姉さんがやさしく教えてくれてありがたいと思いました。</li> </ul> <p><b>【はにゅうの産業と歴史を知ろう～食品工場をのぞいてみよう～】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マヨネーズやマーガリンがどのように作られているのか知ることが出来て楽しかったです。</li> <li>・実際に作っている所を見学したり、工場のくわしい所まで見せてくれて楽しかったです。</li> <li>・ラッキーマヨネーズの名前の由来におどろきました。</li> </ul> <p><b>【橋を強くする方法を学ぼう】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋の知らないところを知り、もっと橋を知りたいと興味をもちました。あと実験で細い橋でもせいみつに作れば10トンぐらい乗ってもだいじょうぶと聞いておどろきました。</li> <li>・木ねじをさしたり、クイズに答えたり、とても楽しかったです。</li> <li>・使っている橋のことを知れたし、問題が心に残りました。</li> </ul> <p><b>【絵から生まれる音楽?!～図形楽譜の世界～】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとつの絵でも、人によって見え方がちがう。</li> <li>・たくさんの楽器にふれられた。知らない楽器がたくさんあった。</li> <li>・色々な楽器をさわったり、絵に合わせた音を見つけるのが楽しかったです。</li> </ul>
<p>保護者の声（感想）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行く前は不安が強く、ドキドキしながら参加していましたが、自己紹介の時から楽しそうに参加が出来ていて安心しました。多くの大人の方がお手伝いをして、きめ細やかに子ども達に接して下さり、ありがとうございます。来年も通わせたいと思いました。</li> <li>・他校に友だちもでき、前回からの友だちとも再会でできて、とても楽しそうな2日間でした。今年は、ここに行って～...と体験したことを楽しそうに話していました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。</li> <li>・純真短大へのあこがれ、学生時代へのあこがれ、中学ボランティアへのあこがれや楽しみを話してくれました。帰宅後はいつもよりもたくさん会話ができました。年下の友人や兄弟に話して聞かせていました。作製したもの、頂いたもののエピソードをずっと笑顔で話している子を見て、嬉しくなり、みなさまに感謝しています。</li> <li>・4年生から参加させていただき、他の学校のお友だちとコミュニケーションをとりことができるようになりました。また、興味をもていないようなジャンルの講義を受けることで、知らなかったことも、もっと知りたいと思うことにより世界を広げることができたと思います。</li> </ul>